

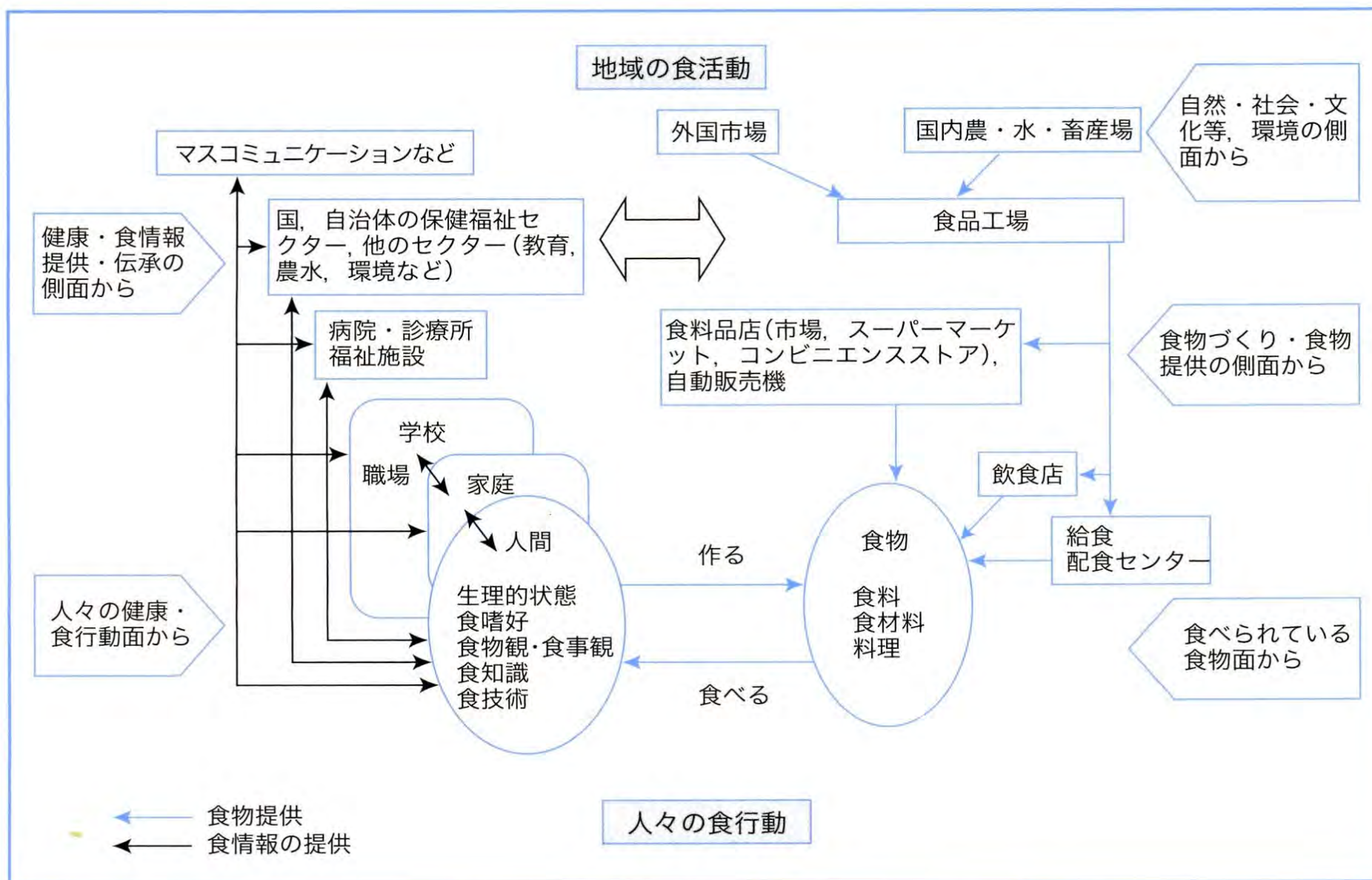
2016年1月7日
第5回特定保健用食品等の在り方に関する専門調査会

管理栄養士・栄養士が要望する 特定保健用食品の情報公開について

公益社団法人 日本栄養士会
専務理事 迫和子



食物と食情報



管理栄養士・栄養士がかかわる対象者

健康状態による対象区分

○一次予防（健常者）

健康増進・疾病発生の予防

○二次予防（半健常者）

生活習慣病や持病がある場合の疾病予防対策

○三次予防（傷病者）

疾病の発症後は機能の維持・回復を図る

ライフステージ別対象区分

- 胎児期
- 乳児期
- 幼児期
- 学童期
- 思春期
- 若年成人
- 実年期
- 中高年期
- 高齢期

栄養ケアの過程

栄養ケアプロセス

- ① 栄養スクリーニング
- ② 栄養アセスメント
- ③ 栄養診断
- ④ 栄養介入（栄養ケアの計画・実施）
- ⑤ 栄養モニタリングと評価

栄養アセスメント項目

項目	指標
身体計測	身長、体重、体組織、上腕筋囲、皮下脂肪厚、筋肉
経口摂取状況	食生活状況、摂食機能、食事摂取量
血液生化学検査	アルブミン、プレアルブミン（トランスサイレチン） トランスフェリン、レチノール結合たんぱく、リンパ球数
臨床的評価	貯蔵脂肪、内臓たんぱく、握力、呼吸機能

栄養ケアプロセスの栄養アセスメント項目

項目	指標
食物／栄養関連履歴	食物・栄養素摂取、食物・栄養素管理、薬剤・栄養補助食品の使用、 知識・信念、補助品の入手のしやすさ、身体活動、栄養に関連した生活の質
身体計測	身長、体重、体格指数、成長パターン指標・パーセンタイル順位、体重の履歴
生化学データ、医学検査	生化学検査値、検査（例：胃内容排泄時間、安静時代謝率）
栄養に焦点を当てた身体所見	身体的外見、筋肉や脂肪の消耗、嚥下機能、食欲、感情
既往歴	個人的履歴、医学的・健康・家族履歴、治療、補完・代替薬剤の使用、 社会的履歴

実際の症例

氏名：日栄次郎（仮）

生年月日：昭和〇〇年■月▲▲日 年齢：42歳 性別：男性

【臨床診断】

#1. 糖尿病 #2. 脂肪肝 #3. 脂質異常症

【職業】コンビニエンスストア店長

平成△△年の健診で、高コレステロール血症、糖尿病を指摘されていたが放置。不規則な生活時間のため、食事は揚げ物中心の廃棄弁当などを食べる。1日中店にいたので、空いた時間にジュースなど絶えず何か口にしている。1日平均12時間の勤務。

【体格】身長：169.7cm、体重：88.3kg 【主訴】医療機関からの紹介、〇〇医院

平成△△年4月、市の検診で高コレステロール血症、7月〇〇医院受診、8月糖尿病の診断。今年4月 上記に追加して肝機能異常

【初回データ】

摂取エネルギー：2,850kcal（24時間思い出し法）

食事時間：朝食8時・昼食14時・夕食21時、間食：深夜1時・10時・19時

炭水化物摂取量：445g

体重：88.3kg、BMI：30.7、腹囲92cm

体温：36.6℃、脈拍：70回/分、血圧：151/ 92mmHg

総コレステロール257mg/dl、LDL-コレステロール162mg/dl、中性脂肪212mg/dl、

血糖値159mg/dl、HbA1c6.8%、ALT 41U/l、AST35U/l、 γ -GTP174U/l

体脂肪率：32%

栄養状態の区分

2~6までの栄養状態を
詳細に評価する

■ 栄養状態は大きく6区分に分けられる

区分	栄養状態	備考
1.	適切な栄養状態	
2.	特定の栄養素の欠乏状態	ビタミン，微量元素欠乏症（例：鉄欠乏性貧血，亜鉛欠乏症など），必須脂肪酸欠乏
3.	数種類の栄養素の欠乏状態	栄養失調・飢餓〔例：たんぱくエネルギー欠乏症：PEM（protein-energy malnutrition）など〕
4.	特定の栄養素の過剰状態	ビタミン，重金属過剰症（例：ビタミンA中毒症など）
5.	数種類の栄養素の過剰状態	過栄養（例：肥満症など）
6.	栄養素相互のバランスが崩れた状態	栄養不均衡（例：アミノ酸インバランスなど）

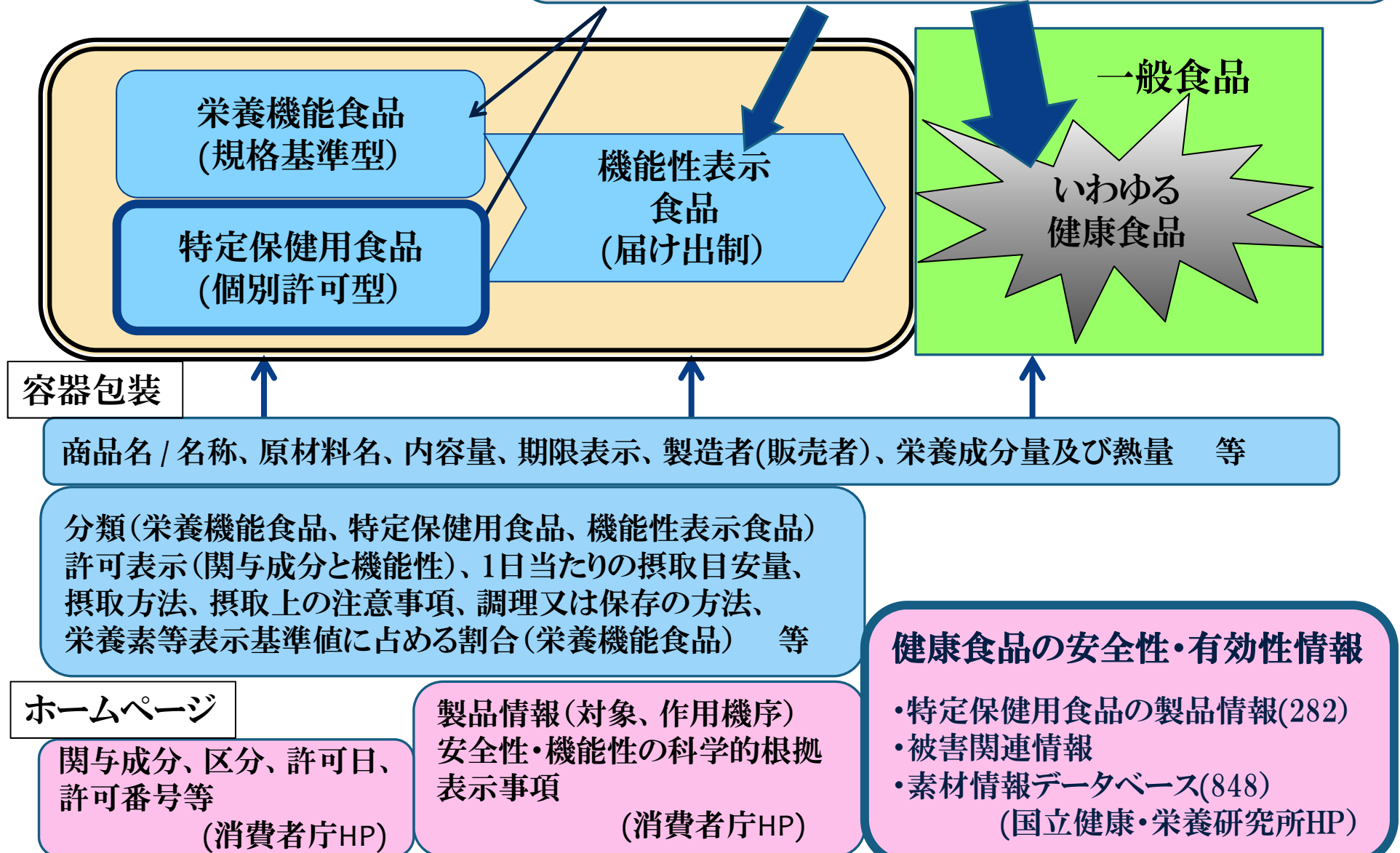
栄養介入

概要

食物・栄養提供	<p>（食事、間食、経腸栄養、経静脈栄養、栄養補助食品を含む） 食物・栄養を提供するためのアプローチ。 ⇒直接提言する・実施する・指示する</p>
栄養教育	<p>対象者が自発的に食物選択や食行動を管理・修正することができるよう知識や技術を教えること。 ⇒知識や技術を教える・情報提供</p>
栄養 カウンセリング	<p>管理栄養士・栄養士と対象者が共同して優先順位・目標を決めて実行計画を作成するための支援的プロセス。 対象者が自らセルフケアの責務を認識し、次の段階へ進めるために「実行計画」を作成する。 ⇒対象者の行動変容を支援する過程</p>
栄養ケアの調整	<p>栄養に関連した問題を対処・管理する他の医療従事者、医療施設、医療機関などと栄養ケアの相談・照会・調整を行う。 ⇒栄養に関する問題を相談・調整する</p>

情報提供の現状 (容器包装、ホームページ)

- ※ 健康不安を持つ者に対する販売促進が常態化
高齢者(健康志向、虚弱)・有病者への販促(DM、TVCM等)
- ※ 過剰な期待を誘導
(イメージ先行、医薬品的効果を期待)→(危害を誘発)



管理栄養士・栄養士が要望する情報

特定保健用食品の製品情報(282件)
国立健康・栄養研究所HP
(日本栄養士会HPよりリンク)

商品情報
(写真、商品名、製造あるいは販売者)
許可された実際の表示
許可された年月日
適切な利用方法
関与成分についての解説(作用機序)
安全性に関する評価
有効性に関する評価

全ての特保の情報が必要

関与成分に関する情報

- 摂取上限値
- 関与成分の相互作用
- 関与成分と医薬品との相互作用

被害情報

(関与成分ごとに取りまとめ)